

VXC-M HTTP 設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料に Virtualization Experience Client Manager (VXC-M) の HTTP を有効にする方法を記述されています。典型的な VXC-M インストール (デフォルト) は FTP プロトコルだけを有効にします。HTTP か HTTPS を使用したいと思う場合 HTTP は有効にする必要があります。

前提条件

要件

Cisco は FTP だけの VXC-M サーバのナレッジが有効になったあることを推奨します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Microsoft Windows Server 2008 R2
- VXC-M バージョン 4.9.1
- Internet Information Services (IIS) バージョン 7 マネージャ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

次の手順を実行します。

1. IIS マネージャ (inetmgr.exe) を開いて下さい。
2. サーバおよびサイトを拡張して下さい。

3. 関係 HTTPサーバを右クリックし、『Add』 を選択 して下さいアプリケーションを...

エイリアス : MyWDM

物理パス: C:\inetput\ftproot

4. 関係 HTTPサーバを拡張し、MyWDM をクリックして下さい。
5. /MyWDM Home 画面で、認証をクリックして下さい。

6. 基本的な認証を有効にし、認証の他の 2 つの型をディセーブルにして下さい。

7. 関係 HTTPサーバの下で MyWDM、およびダブルクリック MIME 型をクリックして下さい。
8. 選択して下さい。*、.ini、.raw および .info。

9. に VXC-M > 設定 Manager> ソフトウェア リポジトリはナビゲートし、マスターを右クリ
ックし、『Properties』 を選択 します。
10. 転送型を HTTP に変更し、FTP して下さい。 質問がポップアップするとき、『Yes』 をク
リックして下さい。

11. 新しく作成された HTTP セクションの下で、関係ユーザ向けのパスワードを入力して下さい:
r@p8p0r+

12. [OK] をクリック します。

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認 します。

に VXC-M > 設定 Manager> ソフトウェア リポジトリはナビゲートし、マスターを右クリ
ックし、接続を『Test』 を選択 します。FTP および HTTP は両方渡る必要 があります。

すべてが予想通りはたらくようにするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Web ブラウザを開きます。
2. <http://localhost/MyWDM/Rapport/package-name/> に行ってください。
3. 関係ユーザーの資格情報とのログイン。
4. パッケージの各ファイルがダウンロードすることができるようにして下さい。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。